

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年3月16日

【四半期会計期間】 第61期第3四半期(自平成23年11月1日至平成24年1月31日)

【会社名】 株式会社サンオータス

【英訳名】 SUNAUTAS CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 北野 俊

【本店の所在の場所】 神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目4番15号

【電話番号】 045 - 473 - 1211

【事務連絡者氏名】 管理本部経理部部长 江畑 敏行

【最寄りの連絡場所】 神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目4番15号

【電話番号】 045 - 473 - 1211

【事務連絡者氏名】 管理本部経理部部长 江畑 敏行

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所

(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第60期 第3四半期連結 累計期間	第61期 第3四半期連結 累計期間	第60期
会計期間	自 平成22年 5月 1日 至 平成23年 1月31日	自 平成23年 5月 1日 至 平成24年 1月31日	自 平成22年 5月 1日 至 平成23年 4月30日
売上高 (千円)	23,605,622	25,540,896	31,652,145
経常利益 (千円)	215,373	33,209	280,144
四半期(当期)純利益又は四半期純 損失() (千円)	96,617	55,697	126,929
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	96,755	61,508	127,216
純資産額 (千円)	3,516,111	3,453,833	3,546,572
総資産額 (千円)	14,391,377	13,867,657	13,570,921
1株当たり四半期(当期)純利益金 額又は四半期純損失() (円)	30.37	17.51	39.90
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	24.4	24.9	26.1

回次	第60期 第3四半期連結 会計期間	第61期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成22年11月 1日 至 平成23年 1月31日	自 平成23年11月 1日 至 平成24年 1月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	19.99	4.04

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第60期第3四半期連結累計期間及び第60期においては潜在株式が存在しないため、記載しておりません。第61期第3四半期連結累計期間においては、新株予約権の残高はありますが希薄化効果を有している潜在株式が存在しておらず、かつ、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。
- 4 第60期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定に当たり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)にて営む事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響による停滞から持ち直し、企業の生産活動や個人消費は回復の兆しが顕著となりましたが、欧州の財政危機や歴史的な円高の進展に加えて原材料価格の高騰による企業部門の収益環境の悪化や、雇用・所得環境の改善が進まないことから、需要の後退と消費マインドの低迷により、依然として景気の先行き不透明感が拭えない状況にありました。

当社グループの属する自動車関連業界では、震災等の影響による生産台数の減少という一時的な要因が払拭され、生産台数は回復基調へと転じたものの、新車販売台数は対前年同期比で激減し、消費者のエコカー・省エネ志向の高まりとともに、輸入車販売も引続き苦戦を強いられました。

また、自動車燃料油販売業界もガソリンの全国需要が縮小する中、当社グループの営業地盤である神奈川県においても需要は低迷し、SS（サービス・ステーション）間の販売競争も激しく、厳しい経営環境下に置かれました。

このような状況のもと、当社グループでは「トータルカーサービス」を実現するため、グループ部門間のシナジー効果の最大限の発揮を意図した業務運営に取り組んだ結果、売上高は25,540百万円（前年同四半期比1,935百万円増加、8.2%増加）となりました。利益面では、ガソリン販売数量の減少及び価格競争による粗利益の減少に加え、新規出店等に伴う先行投資等に起因する販売費及び一般管理費の増加（前年同四半期比66百万円増加）等により、営業利益は33百万円（前年同四半期比203百万円減少、86.0%減少）に止まり、営業外収支の改善により経常利益は33百万円（前年同四半期比182百万円減少、84.6%減少）となり、固定資産除却に伴う特別損失の計上及び法人税等を負担した後の四半期純損失は55百万円（前年同四半期は96百万円の四半期純利益）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。

なお、セグメント間の取引については、相殺消去前の数値によっております。

ガソリンを中心とした燃料油やカーケア商品の販売事業及び車検・整備事業を運営するライフエネルギー事業部門の売上は11,345百万円（前年同四半期比1,246百万円増加）、セグメント損失は70百万円（前年同四半期は32百万円のセグメント利益）となりました。

当部門の主力商品であるSSにおけるガソリン販売は、東日本大震災の影響と消費者の節約志向の高まりによる需要の後退により販売数量が大幅に減少し、価格面でもSS間の競争は熾烈で、原油価格の高止まりによる仕入価格の上昇分をタイムリーに販売価格に反映させることが困難な状況が続きました。

た。直販部門における大口需要家向け軽油・灯油販売数量の増加と原油価格が高値圏で推移したことによる燃料油全体の販売単価の上昇及び環境対策として取り組んでいる自動車エンジン洗浄機器類の販売数量の増加等により、売上高は前年同四半期を上回りましたものの、十分な利鞘が確保できなかったこと並びにSSにおけるガソリン販売数量の減少がセグメント損失の主な要因であります。

レンタカー事業、保険代理店及び中古車売買・斡旋事業を運営するカーライフサポート事業部門の売上は1,061百万円（前年同四半期比48百万円増加）、セグメント利益は9百万円（前年同四半期比48百万円減少）となりました。

当事業の中核であるレンタカー部門では、法人契約の推進と個人顧客に対する短時間利用等、多様なメニューの提供により稼働率の向上に努め、新規出店効果も加わって売上高は前年同四半期を上回りました。利益については、新規出店に伴う設備投資及び保有車両の増加や、省エネ及び環境対策への取組みの一環として、EV（電気自動車）やハイブリッド車等のエコカー導入を推進したこと及びユーザーの低価格志向への対応等に伴い原価率が上昇しセグメント利益の縮小を余儀なくされましたが、将来につながる投資を促進することができました。

BMW車、フォード車、ジャガー車及びブジョー車の4ブランドの輸入車正規ディーラーを運営するカービジネス事業部門の売上は12,973百万円（前年同四半期比681百万円増加）、セグメント利益は103百万円（前年同四半期比80百万円減少）となりました。

平成23年（1月から12月までの暦年）における国内の新車（登録車）販売台数は268万台と前年実績（322万台）を大きく下回りましたが、輸入車正規ディーラー業務を運営する当社グループでは、各ブランドのニューモデルを対象とした積極的な販売促進活動を展開し、新車販売台数及び新車売上高は前年同四半期を上回り、価格競争の影響を最小限にとどめるとともに中古車販売及び車検・整備の取扱いを強化したことによりセグメント利益を確保することができました。

ビルメンテナンス事業及び不動産賃貸事業を行なう不動産関連事業部門の売上は341百万円（前年同四半期比14百万円減少）、セグメント利益は78百万円（前年同四半期比8百万円減少）となりました。

不動産関連事業部門は、安定した顧客を確保しており、引続き堅調に推移しました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ296百万円増加して13,867百万円となりました。これは、現金及び預金が55百万円、受取手形及び売掛金が438百万円とそれぞれ減少し、商品及び製品が546百万円増加したことにより、流動資産合計が150百万円増加したこと及び営業店舗新設等に伴い固定資産合計が145百万円増加したことによるものであります。

一方、支払手形及び買掛金が45百万円減少しましたが、短期借入金が406百万円、長期借入金（1年以内返済予定を含む。）が68百万円とそれぞれ増加したこと等により、負債合計が389百万円増加して10,413百万円となり、純資産合計は当第3四半期連結累計期間の業績等を反映し92百万円減少して3,453百万円となりました。

その結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.2ポイント低下して24.9%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	12,000,000
計	12,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年1月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年3月16日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	3,230,500	3,230,500	大阪証券証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株で あります。
計	3,230,500	3,230,500		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年1月31日		3,230,500		411,250		462,500

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年10月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年1月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 49,300		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式3,180,400	31,804	同上(注)
単元未満株式	普通株式 800		同上
発行済株式総数	3,230,500		
総株主の議決権		31,804	

(注)「完全議決権株式(その他)」の「株式数」欄には株式会社証券保管振替機構名義の株式が200株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権に係る議決権の数2個が含まれております。

【自己株式等】

平成24年1月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数の 割合(%)
株式会社サンオータス	横浜市港北区新横浜二丁目 4番15号	(自己保有株式) 49,300		49,300	1.53
計		49,300		49,300	1.53

2 【役員 の 状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の変動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成23年11月1日から平成24年1月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成23年5月1日から平成24年1月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,292,919	1,237,232
受取手形及び売掛金	2,212,936	1,774,895
商品及び製品	2,050,137	2,596,897
原材料及び貯蔵品	20,452	26,466
繰延税金資産	57,461	31,425
その他	601,636	696,606
貸倒引当金	55,813	32,951
流動資産合計	6,179,731	6,330,572
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,211,373	1,265,777
土地	3,890,088	3,890,088
リース資産(純額)	695,226	727,314
その他(純額)	373,842	450,410
有形固定資産合計	6,170,531	6,333,589
無形固定資産		
のれん	47,022	31,278
その他	24,730	26,117
無形固定資産合計	71,752	57,395
投資その他の資産		
差入保証金	744,937	744,044
繰延税金資産	31,256	30,738
その他	382,201	380,727
貸倒引当金	9,489	9,410
投資その他の資産合計	1,148,905	1,146,100
固定資産合計	7,391,190	7,537,085
資産合計	13,570,921	13,867,657

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,793,267	1,747,966
短期借入金	5,076,226	5,483,082
1年内返済予定の長期借入金	283,872	293,864
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
リース債務	317,565	361,800
未払法人税等	80,083	29,960
賞与引当金	117,020	51,790
その他	767,088	813,816
流動負債合計	8,465,122	8,812,280
固定負債		
社債	120,000	90,000
長期借入金	558,350	616,632
リース債務	422,041	410,977
繰延税金負債	16,948	12,157
退職給付引当金	330,935	354,559
役員退職慰労引当金	88,347	95,119
その他	22,603	22,099
固定負債合計	1,559,226	1,601,544
負債合計	10,024,349	10,413,824
純資産の部		
株主資本		
資本金	411,250	411,250
資本剰余金	462,500	462,500
利益剰余金	2,688,627	2,601,117
自己株式	27,174	27,174
株主資本合計	3,535,202	3,447,693
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,369	5,559
その他の包括利益累計額合計	11,369	5,559
新株予約権	-	580
純資産合計	3,546,572	3,453,833
負債純資産合計	13,570,921	13,867,657

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成23年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成24年1月31日)
売上高	23,605,622	25,540,896
売上原価	19,247,013	21,319,334
売上総利益	4,358,608	4,221,562
販売費及び一般管理費	4,121,612	4,188,288
営業利益	236,996	33,273
営業外収益		
受取利息	2,750	2,232
受取配当金	1,576	1,687
受取手数料	28,179	43,882
その他	20,948	21,166
営業外収益合計	53,454	68,969
営業外費用		
支払利息	69,060	65,052
その他	6,016	3,981
営業外費用合計	75,077	69,033
経常利益	215,373	33,209
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,250	-
固定資産売却益	-	1,049
特別利益合計	2,250	1,049
特別損失		
固定資産除却損	7,375	23,990
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	33,549	-
その他	5,780	25
特別損失合計	46,705	24,015
税金等調整前四半期純利益	170,918	10,243
法人税、住民税及び事業税	48,255	40,005
法人税等調整額	26,045	25,936
法人税等合計	74,301	65,941
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	96,617	55,697
四半期純利益又は四半期純損失()	96,617	55,697

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成23年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成24年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	96,617	55,697
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	137	5,810
その他の包括利益合計	137	5,810
四半期包括利益	96,755	61,508
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	96,755	61,508
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間
(自平成23年5月1日 至 平成24年1月31日)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成23年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成24年1月31日)
減価償却費	379,107千円	473,250千円
のれんの償却額	15,744千円	15,744千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年5月1日 至 平成23年1月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年7月27日 定時株主総会	普通株式	31,812	10.00	平成22年4月30日	平成22年7月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年5月1日 至 平成24年1月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年7月28日 定時株主総会	普通株式	31,811	10.00	平成23年4月30日	平成23年7月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成22年5月1日至平成23年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ライフエネ ルギー事業	カーライフ サポート事 業	カービジネ ス事業	不動産関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,999,381	988,460	12,286,764	331,016	23,605,622		23,605,622
セグメント間の内部売上高 又は振替高	100,041	25,214	5,411	25,741	156,409	156,409	
計	10,099,422	1,013,674	12,292,176	356,757	23,762,031	156,409	23,605,622
セグメント利益	32,284	57,106	184,400	87,376	361,168	124,171	236,996

- (注) 1. セグメント利益の調整額 124,171千円には、セグメント間取引消去95,351千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 219,523千円が含まれております。なお、全社費用は管理部門等に係る費用であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年5月1日至平成24年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ライフエネ ルギー事業	カーライフ サポート事 業	カービジネ ス事業	不動産関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,236,991	1,030,457	12,961,267	312,179	25,540,896		25,540,896
セグメント間の内部売上高 又は振替高	108,453	31,497	12,630	29,716	182,298	182,298	
計	11,345,445	1,061,955	12,973,898	341,896	25,723,195	182,298	25,540,896
セグメント利益又は損失()	70,941	9,069	103,887	78,940	120,956	87,683	33,273

- (注) 1. セグメント利益又は損失()の調整額 87,683千円には、セグメント間取引消去93,024千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 180,707千円が含まれております。なお、全社費用は管理部門等に係る費用であります。
2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成23年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成24年1月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額()	30.37円	17.51円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	96,617	55,697
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	96,617	55,697
普通株式の期中平均株式数(株)	3,181,173	3,181,130
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		第1回ストックオプション (新株予約権方式) 新 株予約権の数 1,200個

(注) 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、新株予約権の残高はありますが希薄化効果を有している潜在株式が存在しておらず、かつ、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年12月14日

株式会社サンオータス
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 神 山 宗 武 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 種 村 隆 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サンオータスの平成23年5月1日から平成24年4月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成23年8月1日から平成23年10月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年5月1日から平成23年10月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サンオータス及び連結子会社の平成23年10月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年3月16日

株式会社サンオータス
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 神 山 宗 武 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 種 村 隆 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サンオータスの平成23年5月1日から平成24年4月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成23年11月1日から平成24年1月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成23年5月1日から平成24年1月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サンオータス及び連結子会社の平成24年1月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。